

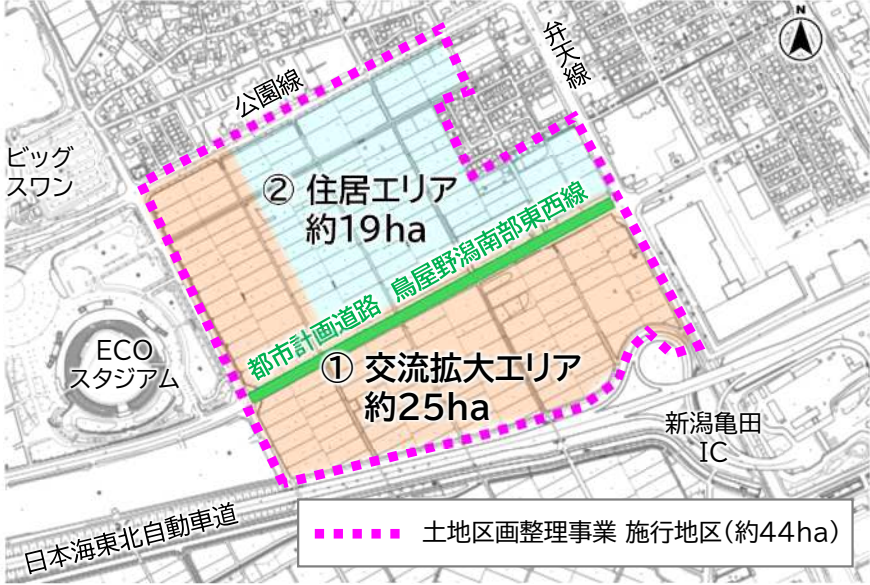
鳥屋野潟南部東西線などの整備による
鳥屋野潟南部開発計画(住居・交流拡大ゾーン)への効果検証結果について

令和8年6月26日
環境建設常任委員協議会資料
土木部 道路計画課
都市政策部 まちづくり推進課

事業概要(土地区画整理事業)

施行者	鳥屋野潟南部地区土地区画整理組合
組合員数(地権者数) ※組合設立時	105人
事業面積	約44ha ① 交流拡大エリア:約25ha ② 住居エリア:約19ha
事業期間	令和7年6月20日～令和14年3月31日
事業費	約155億円

施行地区位置図



進捗状況

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
鳥屋野潟南部地区 土地区画整理事業	● 組合 設立	造成工事等					● 組合 解散
都市計画道路 鳥屋野潟南部東西線		地盤改良	道路改良	● 供用 開始			
交流拡大エリア 事業者スケジュール ※「新潟県にぎわいのあるまちづくりの 推進に関する条例」の届出(R7.1)より			● 建築工事 R9.4 建築工事 着手予定	● 以降、順次建築工事が完了次第、オープン予定 R10.4 新設(オープン)予定			

鳥屋野潟南部東西線などの整備による
鳥屋野潟南部開発計画（住居・交流拡大ゾーン）への効果検証結果について

1 目的

住居・交流拡大ゾーンの開発に伴う交通量増加に対する、道路整備などの効果検証を行う

2 与条件

① 採用した現況交通量（交通量調査結果）

項目	休日
調査日時	令和7年6月14日（土）7時～19時 ※食品商業店舗オープン直後（令和7年5月23日）

② 開発に伴い増加する交通量（開発予定面積から国のマニュアルに従い算定）

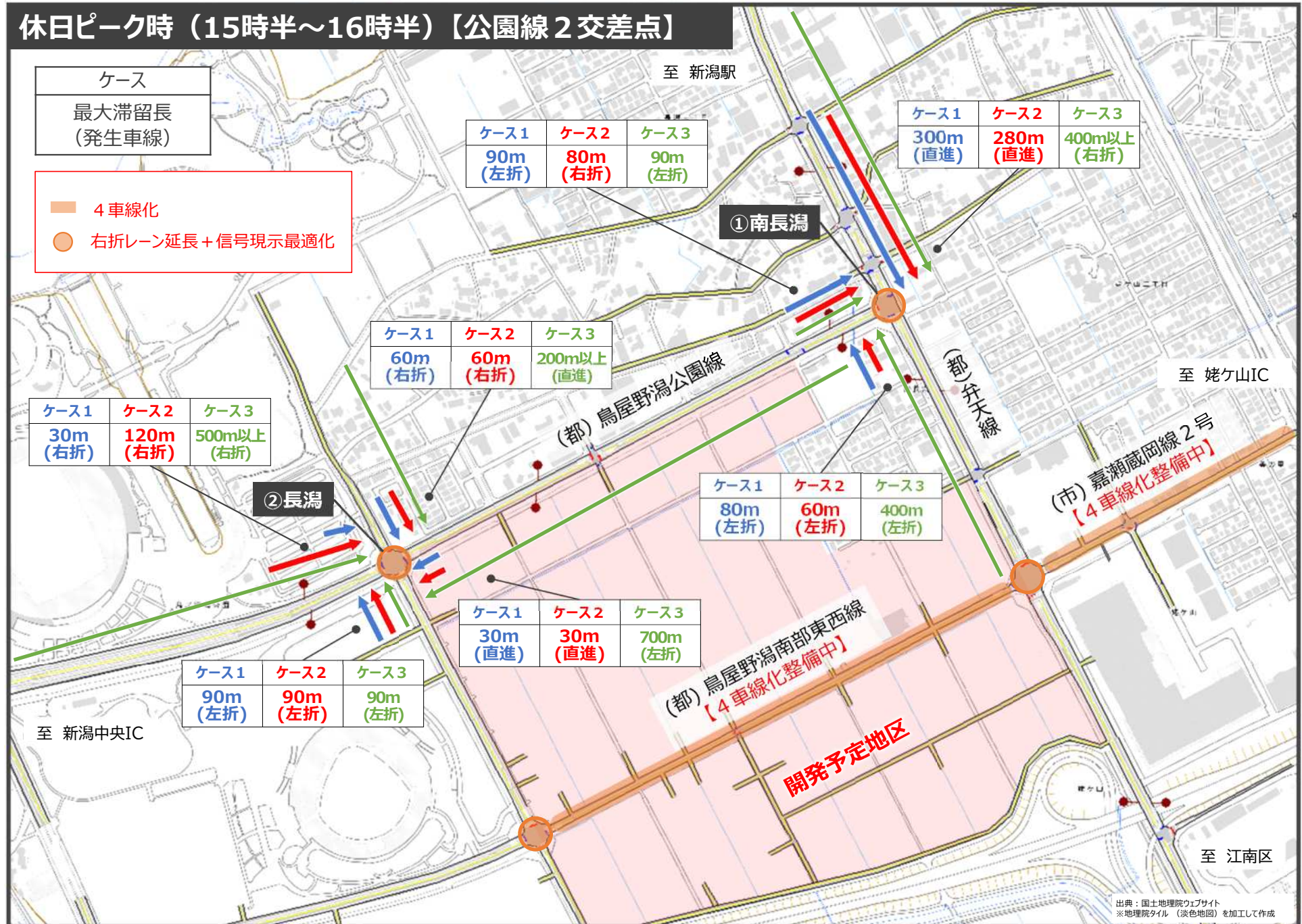
項目	休日
交通量	約45,000台／日

【 開発後の交通量 = ①現況の交通量 + ②開発に伴い増加する交通量 】

3 効果検証ケース 3 ケース比較による効果検証

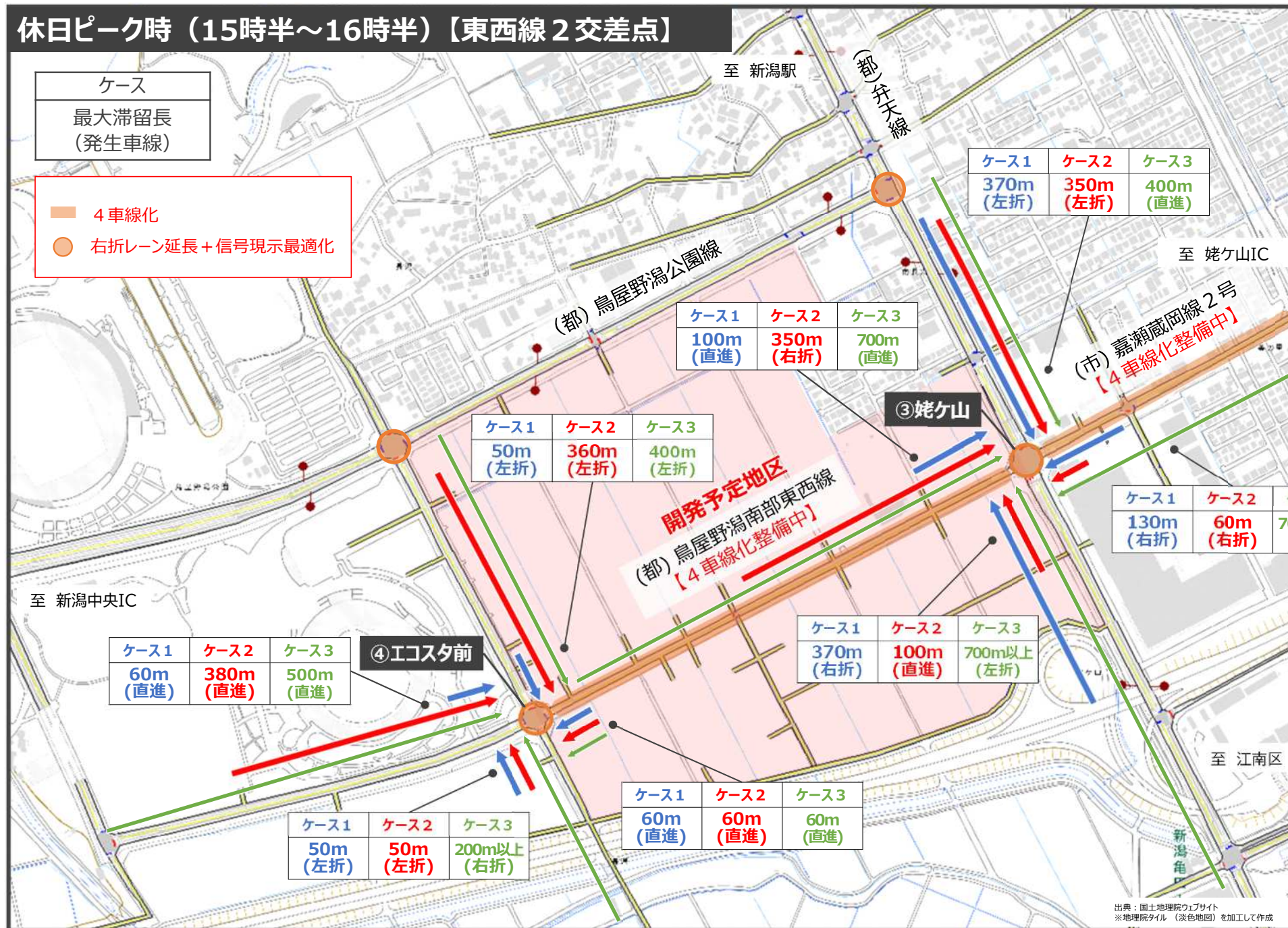
検討	休日
ケース 1	現 況（現況の交通量＋現況の道路）
ケース 2	開発後の交通量＋【鳥屋野潟南部東西線整備＋右折レーンの延長＋信号現示の最適化】
ケース 3（参考）	開発後の交通量＋現況の道路

休日ピーク時（15時半～16時半）【公園線2交差点】



最大滞留長は『10分程度』で収束する

休日ピーク時（15時半～16時半）【東西線2交差点】



最大滞留長は『10分程度』で収束する